

# 共生

黒木隆之 書

2023.6  
June  
No.43

## <巻頭言>

### 会長就任にあたって

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 会長 久木元 司 <P1>

## <挨拶>

### 副会長就任にあたって

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 山内 義宣 <P1>

## <報告>

- 令和5年度 県経営協総会 <P2>
- 令和5年度・令和6年度 役員体制 <P3>
- 令和5年度 かがしまおもいやりネットワーク事業総会 <P4>
- 令和5年度 総会時研修 <P4>
- 新会員のご紹介 <P5>
- 社会福祉法人における物価高騰への支援の拡充にかかる要望書の提出 <P6>
- 令和4年度 鹿児島県経営協セミナー(後期) <P7>
- 令和4年度 かがしまおもいやりネットワーク事業相談員・コミュニティワーカー研修会 <P8>
- 令和4年度 保育部会研修会 <P8>

## 連載企画

### 学福連携プロジェクト アイユーケー バイ ケイ エイキョウ **IUK × 経営協** <P9>

#### Vol.3『精神医療の現場をより良くするために – 私の専門分野 – 』

学校法人 津曲学園 鹿児島国際大学 福祉社会学部 社会福祉学科長 林 岳宏 氏

## <寄稿文>

### 福祉は誰のために

社会福祉法人 あすなる福祉会

総合支援センターわかば

施設長 山本 秀樹 氏 <P10>

### モニター会員の募集・お知らせ <P11>



新体制で出発

## <巻頭言>

### 会長就任にあたって

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 会長 久木元 司



この度、会長に再選され、改めて身の引き締まる思いであります。社会福祉法人の発展のため、粉骨砕身尽力して参る所存です。

この数年は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックで私ども社会福祉法人は大きなダメージを負いながらも懸命に利用者支援を続けてきました。風評被害、衛生物品の確保、検査体制の充実、ワクチンの優先接種等、その時々で課題になったことを鹿児島県社会福祉法人経営者協議会としても各方面に要望を行い、対応に追われる日々でありました。マスク着用も自己判断になり、令和5年5月8日からは感染症法上の位置づけも第5類相当に引き下げられ、インフルエンザと同様の扱いとなりましたが、重症化率は下がったとはいえ、感染力は変わらず強いことから施設・事業所内ではこれまで通りの感染対策を継続しながら施設・事業所の活動を通常通りに戻していくことになると思われまます。鹿児島県社会福祉法人経営者協議会としても、アフターコロナを見据えた経営の在り方など、研修を通じ、皆様方への支援を行って参りたいと考えています。

直近の課題としては、エネルギー・物価高騰への対応を確実に行っていきたくと考えています。4月24日には鹿児島県庁を訪問し、社会福祉法人の施設・事業所に対し、臨時交付金の配分を要望して参りました。ただ、エネルギー・物価高騰対策として継続的な対応が必要なことから、臨時交付金という一時的な対応ではなく、報酬上、しっかりと手当するよう報酬改定の時期を捉え、国に対しても要望を行って参りたいと考えております。

国は、全世代型社会保障改革として少子高齢・人口減少社会、また、人生100年時代の到来を見据えながら高齢者とともに、子ども、子育て世代、さらには現役世代まで広く安心を支えていくため、医療、介護、少子化など、社会保障全般にわたる持続可能な改革を目指すとしています。これらの議論にもコミットし、地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人が主導的役割を果たせるよう対応して参りたいと思ひます。

## <挨拶>

### 副会長就任にあたって

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 山内 義宣



先日の鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会に於きまして副会長の任を仰せつかりました社会福祉法人輪光福祉会副理事長の山内義宣と申します。

曾於市の方で小規模ですが、認定こども園などの児童福祉、障がい者グループホームなどの障がい福祉、特別養護老人ホームなどの老人福祉事業を経営しております。輪光福祉会の母体は浄土真宗本願寺派の輪光寺というお寺で、私も僧籍を有しております。

これまで県の経営協では、研修・広報部会の部会長や鹿児島県青年経営者部会の会長として携わってまいりました。中でも青年経営者部会の会長として、全国青年会の副会長や九州ブロック青年会の会長の職を経験できた事は、重責ではありましたが貴重な経験と勉強になりました。全国経営協や九州ブロック経営協の会議や委員会に参加できたことも、これからの福祉や経営協という組織を知る上でたいへん有意義でした。鹿児島県をはじめ、全国各地に同年代の仲間ができたことも大きな財産です。

これからの鹿児島県の福祉を考えてみますと、生活困窮者の増加や独居老人の増加、弱者への虐待やDV、引きこもりや孤立、老老介護やヤングケアラー、福祉の担い手の減少などなど様々な問題が深刻化していくことと思われまます。社会福祉法人の安定した経営を目指していくことは勿論ですが、生きにくさを抱えている人々が少しでも生きやすさを感じてもらえる社会、制度の隙間にいる人達がだれ一人取り残されることなく生活を続けられる社会を目指していかなければなりません。

今回、県経営協の副会長を仰せつかり、その責任の重さに押しつぶされそうですが、他の副会長の先輩方とともに久木元会長を支え、鹿児島県の社会福祉の充実と社会福祉法人の経営の安定に少しでもお役に立てるよう力を尽くして参ります。

皆さま方の叱咤激励をよろしくお願いいたします。

# 令和5年度 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会

5月23日（火）、城山ホテル鹿児島において令和5年度 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会を、令和元年度以来、4年ぶりに完全集合形式で晴れやかに開催しました。

式典では、久木元会長の挨拶の後、来賓である鹿児島県くらし保健福祉部 部長の房村 正博 様、鹿児島県社会福祉協議会 会長の布袋 嘉之 様よりご祝辞をいただき、花を添えていただきました。

出席法人数85法人、委任状提出法人数100法人で全会員法人数227法人の過半数となり、会の成立を報告後、議長に正和会の有村 茂樹 理事長が選出され、議長より議事録署名人2名を指名いただいたあと、議事に入りました。

まず、令和4年度の事業報告については、県知事及び自民党県連への福祉施策に関する要望・提案、また記念大会として開催した第10回社会福祉法人経営者大会や県経営協セミナー等の実施状況、鹿児島国際大学との包括連携に関する協定に基づく連携状況等について報告。併せて、決算報告として当初予算28,449千円に対して、各事業の執行状況を説明のうえ、収入計27,559,493円、支出計21,781,276円の収支決算を報告し、事業報告とともに了承されました。

また、令和5年度の事業計画と収支予算についても、実施予定の各事業について説明を行うとともに、今回役員の変更期であったことから、令和5年度・令和6年度役員及び監事についても承認されました。（詳細は役員一覧を3ページに掲載。）

今年度も会員法人の運営力・経営力向上のために鋭意努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## <議事一覧>

- |       |                       |       |                  |
|-------|-----------------------|-------|------------------|
| 第1号議案 | 令和4年度事業報告について         | 第2号議案 | 令和4年度収支決算について    |
| 第3号議案 | 令和5年度事業計画（案）について      | 第4号議案 | 令和5年度収支予算（案）について |
| 第5号議案 | 令和5年度・令和6年度役員及び監事について |       |                  |



← 挨拶：久木元 司会長



← 祝辞：鹿児島県くらし保健福祉部 部長 房村 正博氏



← 祝辞：鹿児島県社会福祉協議会 会長 布袋 嘉之氏

## 令和5年度・令和6年度 役員体制

令和3年度・令和4年度の役員及び監事の任期満了に伴い、令和5年度・令和6年度の役員及び監事が選出され、会長には久木元 司 協議員が、副会長には柿添 信義 協議員（県老施協会会長）、水流 純大 協議員（県知障協会会長）、下園 和靖 協議員（県保連会長）が再任されたほか、今回新たに山内 義宣 協議員（社会福祉法人 輪光福祉会 副理事長）が選任され、5月23日（火）に開催された総会で他の協議員・監事とともに承認されました。

報酬改定を間近に控え、物価高騰に伴う経営難が起こるなど、課題が多い中ではございますが、役員一同気持ちを新たに、会員法人の運営力・経営力向上のために鋭意努めてまいりますので、今後とも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会役員及び監事

任期：令和5年5月23日～令和7年5月22日

役 職	氏 名	社会福祉法人及び役職名	選出区分等
会 長	久木元 司	常盤会 理事長	学識経験者
副会長	柿添 信義	同仁会 理事長	高齢者福祉施設経営グループ 県老人福祉施設協議会 会長
副会長	水流 純大	落穂会 理事長	障害者福祉施設経営グループ 県知的障害者福祉協会 会長
副会長	下園 和靖	真和会 阿多こども園 園長	児童福祉施設経営グループ 県保育連合会 会長
副会長	山内 義宣	輪光福祉会 副理事長	高齢者福祉施設経営グループ 県老人福祉施設協議会 理事
協議員	石踊 紳一郎	幸伸会 理事長	高齢者福祉施設経営グループ 県老人福祉施設協議会 副会長
協議員	松久保 和俊	敬和会 理事長	障害者福祉施設経営グループ 県社会就労センター協議会 会長
協議員	田中 博文	向陽会 たらちね学園 施設長	児童福祉施設経営グループ 県児童養護協議会 会長
協議員	瀬戸山 豪	緑風会 理事	青年経営者部会 県青年経営者部会 会長
協議員	田崎 寛二	鹿児島県社会福祉協議会 常務理事 兼事務局長	学識経験者
監 事	丸田 大剛	慈昂会 理事長	高齢者福祉施設経営グループ 県老人福祉施設協議会
監 事	山本 秀樹	あすなろ福祉会 総合支援センターわかば 施設長	障害者福祉施設経営グループ 県知的障害者福祉協会 副会長

## 令和5年度 かがしまおもいやりネットワーク事業総会

5月19日（金）に令和5年度 かがしまおもいやりネットワーク事業総会を開催しました。

これまで、県経営協総会と同日開催としておりましたが、今年度から別日程で開催し、開催方法も加入法人の利便性を考慮し、オンライン開催としました。

久木元委員長の開会挨拶の後、事務局より令和4年度の事業実施状況及び収支決算状況について報告するとともに、令和5年度の事業計画及び収支予算や事業部会員の新体制等について説明。

令和4年度末における加入法人数は112法人（施設経営法人：85法人，社会福祉協議会：27法人）で、現物給付支援金額は昨年度を上回る過去最高額となる506万7,686円（対前年度比：91万3439円増）を記録するなど、昨年度に引き続き、かがしまおもいやりネットワーク事業へのニーズが大きく拡大しました。

令和5年度もさらなる県内のネットワークの拡大を目指し、社会生活上で困りごとを抱えた方々への支援に貢献できるよう努めてまいりますので、今後とも、かがしまおもいやりネットワーク事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

### 支援の輪が拡大中！

#### <令和5年度 新規加入法人一覧（令和5年5月末現在）>

- ・社会福祉法人 伊佐市社会福祉協議会【伊佐市】（令和5年4月加入）
- ・社会福祉法人 大崎町社会福祉協議会【大崎町】（令和5年4月加入）



## 令和5年度 総会時研修

5月23日（火）、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会総会の終了後、城山ホテル鹿児島において令和5年度総会時研修を開催しました。

今年度は、群馬県で高齢者支援施設や障害者支援施設を運営する「社会福祉法人 恵の園」の山田 雅人理事長を講師に迎え、「良い人材の確保と育成の視点～「虐待」の事案から学ぶ経営者にとって大切なポイント～」と題してご講演いただきました。

山田理事長は、全国経営協の常任協議員・制度政策委員会委員としてご活躍されており、全国経営協の福祉人材対策委員会の初代委員長としての高いご見識と自法人でのご経験を交えながら、人材確保の基本的なとらえ方から職員の育成と質の向上のポイントまで、より実践的な視点から大変詳しくお話しくださり、会場では多くの参加者が山田理事長の話に耳を傾けながら、熱心に筆を走らせる様子がお見受けされました。

今後も会員法人の法人経営の一助となるよう、有益な情報をお伝えできるよう、研修・広報部会での企画・検討を進めてまいります。



講師：社会福祉法人 恵の園  
理事長 山田 雅人氏

令和4年度に新たに経営協にご入会いただいた法人の中から、今回2法人の理事長様よりお言葉を頂戴しましたので、ご紹介させていただきます。

社会福祉法人 ふよう会  
中村 富士子 理事長  
(令和4年10月入会)

当法人は、昭和48年に設立し、西之表市で特別養護老人ホームわかさ園、デイサービスセンターわかさ園を運営しており、令和4年6月に私が理事長を拝命しました。

経営協のセミナー受講、交流等を通して、社会福祉法人の安定的な経営につなげるため、入会いたしました。

これからどうぞよろしくお願いたします。



社会福祉法人 博寿会  
大迫 信博 理事長  
(令和4年10月入会)



当法人は平成15年8月に設立し、現在、曾於市で特別養護老人ホームおおすみ苑、地域密着型特別養護老人ホーム高松すわの森、小規模多機能ホーム・グループホーム高松みどりの里を運営しております。

理事長就任後、社会福祉法人を取り巻く環境の厳しさ、これからのあり方等について経営協のセミナーで学習したく入会いたしました。

どうぞよろしくお願致します。

なお、その他にも下記法人もご入会いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

法人名：社会福祉法人 <sup>こおる</sup>響流福祉会（副 直子 理事長）

住所：薩摩郡さつま町鶴田 3424 番地 18

運営施設：つるだ同朋子ども園

入会時期：令和4年10月

## 社会福祉法人における物価高騰への支援の拡充にかかる要望書の提出

水道光熱費といったエネルギー関連経費や食材料費、また施設の老朽改築や大規模修繕にかかる建築費などの物価高騰により、社会福祉法人における施設運営に大きな影響が生じており、令和3年度決算では、社会福祉法人の3割超が赤字との報告がなされ、令和4年度決算においては、さらに状況が悪化することが予想されるなか、4月24日付けで県知事に対して、「社会福祉法人における物価高騰への支援の拡充にかかる要望書」を提出しました。

この要望書は、福祉施設・事業所が国の定める公的価格により経営しており、物価高騰の影響を価格転嫁することはできず、経営努力のみで対応し続けることは困難であり、安心・安全かつ質の高い福祉サービスを継続するためにも、物価高騰対策の推奨事業メニューとされている令和5年度における地方創生臨時交付金の介護・保育施設等の事業者支援への活用について、県内すべての福祉施設・事業所へ確実に配分が実施されるよう、対応を要望したものです。

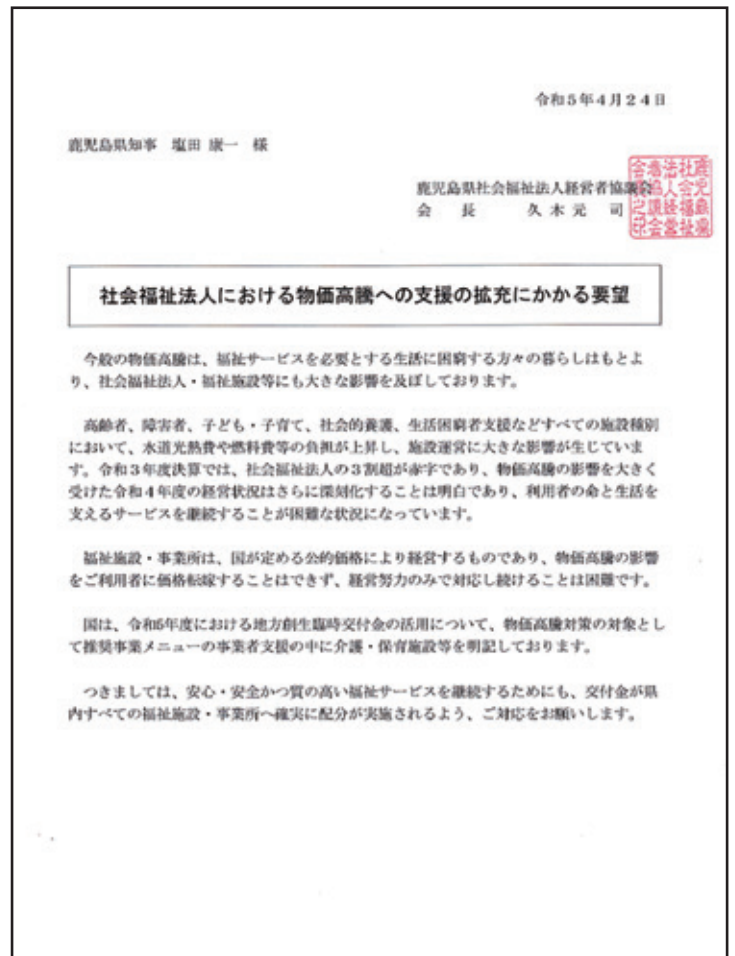
今後も全国経営協と連携しながら、社会福祉法人があらゆる社会課題の解決に取り組む姿を発信するとともに、しっかりとしたエビデンスをもって県などに対して要望を届けるとともに、会員法人へ有益な情報を提供できるよう努めてまいります。



久木元会長から県くらし保健福祉部長へ要望書を提出



(左から) 県くらし保健福祉・房村部長、久木元会長



県知事宛に提出した要望書



## 令和4年度 鹿児島県経営協セミナー（後期）

2月9日（火）、令和4年度 鹿児島県経営協セミナー（後期）を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを確保するとともに、マスク着用や手指消毒、検温等の予防策を講じたうえで、城山ホテル鹿児島において開催し、多くの方にご来場いただきました。

まず、最初の講義では全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会委員の廣江 晃氏が、「未来に続く法人経営のヒント」と題して、社会保障・社会福祉をめぐる動向のほか、多角化・多機能化の検討や人材確保・育成・定着といった各法人が取り組むべき課題のポイント等について大変わかりやすく解説されました。

その後は、瀬戸山 豪 青年経営者部会長と前・青年経営者部会長の山内 義宣 協議員のコンビによる青年会アピール漫才が披露され、ユーモアたっぷりに青年会の特徴や魅力を織り交ぜながら会場の笑いを誘い、和やかな雰囲気になりました。

最後は、全国社会福祉法人経営者協議会事務局である全国社会福祉協議会 法人振興部から「もっと使って！経営協」と題し、経営協ドッグや外国人材拡大プレイスについて説明がありました。

新型コロナウイルス感染拡大の第8波のさなかでの開催となり、今回ご参加いただけなかった法人もあられたかと思いますが、今後とも全国経営協と連携しながら、会員法人をはじめ、関係者の皆様にタイムリーかつ的確に有力な情報をお伝えできるよう努めてまいります。



挨拶：久木元 司 会長



講師：全国社会福祉協議会  
制度政策委員会 委員 廣江 晃氏



鹿児島県青年経営者部会  
会 長 瀬戸山 豪氏（左）  
前会長 山内 義宣氏（右）

事務局説明  
「もっと使って！経営協」の資料（一部抜粋）



## 令和4年度 かがしまおもいやりネットワーク事業 相談員・コミュニティーワーカー研修会

2月3日（金）に令和4年度 かがしまおもいやりネットワーク事業における相談員・コミュニティーワーカー研修会をオンラインで開催しました。

今回の研修会では、鹿屋市社会福祉協議会 地域福祉課の上園 健斗 主事より「地域住民との連携によるかがしまおもいやりネットワーク事業の活用」と題し、実践報告をいただきました。

鹿屋市社会福祉協議会は、重層的支援体制整備事業における多機関協働事業に取り組む中で、かがしまおもいやりネットワーク事業を積極的に活用され、豊富な支援実績があり、地域住民と連携しながら、困りごとを抱えている母子家庭世帯を支える様子が報告されました。

「支援を通して、制度の狭間で埋もれてしまっている困りごとを拾い上げるうえで、より細かで正確な情報を持っている地域住民の力が大切であることを再認識した。」と語られ、他の参加者にとっても刺激になった様子でした。

その後は、「私が『おもいやりネットワーク事業』を活用するうえで必要なこと」、「自分の地域の社会資源を紹介！」という2つのテーマでグループワークを行い、様々な意見やアイデアが出され、今後の支援の参考になったものと思われまます。

今後も、加入法人間のネットワーク強化と相談員・コミュニティーワーカーの資質向上に資する研修会を企画してまいります。



## 令和4年度 保育部会研修会

2月1日（水）、令和4年度 保育部会をオンライン併用で開催しました。

今年度は、石川県で障害がある人もない人も、子どもも高齢者も“ごちゃまぜ”に過ごせる複合施設を運営する「社会福祉法人 佛子園」の雄谷 良成 理事長を講師に迎え、オンラインでご講演いただきました。

障害のある人の就労や日中活動支援、高齢者のデイサービス、3歳未満児の保育園など、さまざまな福祉サービスを行う施設内に天然温泉やフィットネスクラブ、そば屋、カフェ、花屋、診療所などを併設させ、それらを地域住民に一般開放し、同じ空間で過ごせるようにすることで、地域住民と利用者・職員の間で自然と交流が生まれている様子を報告いただき、参加した法人にとって、今後の多角化・多機能化の事業展開のヒントになったものと思われまます。

今後も保育所経営法人の皆様へ魅力を感じていただける研修会の企画・運営に努めてまいります。



講師：社会福祉法人 佛子園  
理事長 雄谷 良成 氏

# 学福連携プロジェクト



アイユー ケー バイ ケイ エイ キョウ  
**IUK × 経営協**



みんなの「生きる」を  
社会福祉法人



## Vol.3『精神医療の現場をより良くするために 一私の専門分野一』

学校法人 津曲学園 鹿児島国際大学  
福祉社会学部 社会福祉学科長 林 岳宏

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。私は、令和2年4月より、鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科において、教育・研究に従事しております。また、令和4年4月より、社会福祉学科長に就任し本年度で2年目を迎えました。この場をお借りしてご挨拶を申し上げますとともに、専門分野のご紹介をさせていただきます。

私の専門分野は精神医学で、精神科医です。先に本学での業務をご紹介します。本学の主な講義科目は「精神医学」「精神保健学」「医学一般」などです。学科内では、精神保健福祉士養成課程の教員で、もう一人の担当教員である茶屋道拓哉教授と共に、学生の教育にあたっています。そちらでは、「社会福祉士+精神保健福祉士」のダブルライセンス取得を目指すというのが、基本的な方針です。

私は、平成18年に鹿児島大学医学部を卒業後、初期研修を経た後に、精神科医として大学病院や単科精神科病院で診療に従事してきました。そのなかで、様々な福祉職の方々とお仕事をさせていただきました。その一方、大学院に進み、生物学的な立場から研究を行ってきました。具体的には、「こころの病」を科学的に解明するべく、生化学・分子遺伝学といった知識を用いながら研究を行ってきました。平成24年に学位を取得後は学生教育にも携わるようになり、現在に至っています。研究領域としては、精神科の薬物治療における個人差について、特に興味を持っています。最近、縁あって、統合失調症の薬物治療ガイドの作成に携わる機会がありました。一般に、医療では各疾患の治療ガイドラインがありますが、統合失調症のそれは専門家向けに書かれたもので、患者や支援者が読むには難解なものでした。そこで、患者や支援者が読んでわかりやすい「統合失調症薬物治療ガイド2022 -患者と支援者のために-」が作成されました。インターネット上で公開されていますので、是非ご覧になっていただければと思います。

私はこれまで、医学生を中心に教育をおこなってきましたが、本学では精神保健福祉士を中心とした福祉職を目指す学生への教育を行っています。医療を学ぶ上での順序といったものはかなり違いますが、医療現場を常に想定しながら学ぶ姿勢は変わらないものと考えております。教育においては、学生が「現場ではどんなことが行われているか」を常にイメージしながら学べるように心がけています。今後も、学生教育を通じて、医療・福祉に携わる方々と様々な活動を行うことで、精神医療の発展、ひいては地域福祉の発展に貢献したいと考えています。

最後になりましたが、この度は、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会の皆様へご挨拶する機会をいただきましたことに心から感謝申し上げます。微力ながら、鹿児島の地域福祉の発展に貢献できるよう、精進して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## <寄稿文>

# 福祉は誰のために

社会福祉法人 あすなろ福祉会  
総合支援センターわかば 施設長

山本 秀樹



「たまご1パック280円」「さんま1匹250円」など食品価格の高騰、ガソリン・電気代の高騰、異常気象そして新型コロナウイルスの影響、ここ数年ほど私たちの身近な生活が、遠い国で起こった出来事など世界とつながっていることで影響を受けたことはなかったのではないのでしょうか。

私の職場でも、大きな影響の出た一年でした。

私の職場は、指宿市において、初めての放課後等デイサービス事業所として平成25年に事業を始め、平成27年に児童発達支援センターとして指定を頂き現在に至っています。開設当時は、地域資源が非常に乏しい状況でしたが、現在は児童発達支援・放課後等デイサービス事業所も増え、学校や保育園・幼稚園・こども園と連携させていただいています。児童発達支援・放課後等デイサービス事業が広く知られるようになり、子供たちの選択肢が増えていくことは喜ばしいことだと思います。

指宿市においても、令和4年はいわゆる第8波と呼ばれる感染拡大の影響を受けました。私の職場でも、一時は月の半分も営業できない状態に陥りました。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症は、感染法上の取り扱いが5類に移行されましたが、現在も油断できない状況が続いています。

そして今年度に入り、「異次元の少子化対策」など、人口減少に伴う対応として福祉分野の制度を拡充すべきとの情報を散見するようになりました。保育所利用の条件緩和や保育士配置基準の改善など、すでに具体的な制度改正が発表されているものもあるようです。

私たち社会福祉法人は社会福祉事業を通して地域に貢献することを求められています。

高齢者・障害者・児童福祉サービス等多くの分野で公共性の高い福祉サービスを担っています。

さらに近年は、人口減少や高齢化が進む県内各地域においても、核家族・高齢者一人暮らし世帯をつなぐ有為の人材集団として、地域から求められる役割も増してきているのではないのでしょうか？

障害者の就労施設が、農業や製造業で新たな働き手として活躍したり、高齢者施設が、地域において子供と高齢者のふれあいの機会をつくったりと、社会福祉法人の各地域での様々な取り組みを目にする機会も増えてきました。そして、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会による「かごしまおもいやりネットワーク事業」。それを紹介する機会がありました。関係した地域の方から「相談できる制度がみつからなくて困っていたんです。本当に助かりました。」とのお言葉を頂くことができました。

社会や世界とのつながりが深くなり、多くの影響を受けるようになった現在の社会では、社会や世界に対して私達から影響を与える可能性もまた大きくなっていると思います。厳しいニュースがたくさんありますが、地域やすぐ近くの利用者の笑顔のために、これからも、力を尽くさなければと思います。



総合支援センター わかば

〒891-0403

鹿児島県指宿市十町1814

TEL: 0993-26-3502

## モニター会員の募集

全国社会福祉法人経営者協議会（以下、「全国経営協」という。）では、昨今の物価高騰への対応や、社会福祉法人をめぐる制度・予算への提言・要望に会員法人の皆さまの声を届けるため、緊急アンケートに協力いただき、モニター会員を募集しています！（1法人につき1登録となります。）

提言・要望の実現には、より多くの法人のモニター会員登録による、しっかりとしたエビデンスの収集が必要です。是非とも、皆様の御協力をお願いいたします。

詳細については、全国経営協（TEL:03-3581-7819）へお問い合わせください。



### 調査内容

社会福祉法人の経営に関する内容や全国経営協事業へのご意見について、年間10回程度（設問は10問程度）のアンケート調査に協力いただく予定です。



### モニター特典

協力費として年額1万円を支給します。

**実質の会費値引き！**



### 申込方法

WEB上の登録フォームより申し込みいただけます。  
（右記QRコードからもアクセス可能です。）

<http://urx.space/mVTs>



モニター会員  
登録フォーム



モニター会員  
代理登録用専用フォーム  
ダウンロード先

### <登録までの流れ>

#### ステップ1：登録フォームにアクセス

#### ステップ2：下記必要事項をフォームに沿って入力

法人名 会員 No. 法人所在地 担当者連絡先 前年度事業活動収入額

事業種別 ※ 法人登記年 職員数 事業所数

※ サービス活動収益の80%以上を占める事業（高齢、障害、保育、児童、生活保護、養護・軽費、その他）を法人の事業種別として登録いただきます（80%以上を占める事業がない場合は「その他」）。

#### ステップ3：申請

#### ステップ4：登録したアドレスに登録完了メールが届く ⇒ モニター会員登録完了

※専用フォームでの登録が難しい法人場合は、全国経営協ホームページに公開している代理登録用専用フォーム（Word）に必要事項を記入し、全国経営協へメールまたはFAXいただければ、代理登録いたします。  
<https://www.keieikyo.com/keieikyo/news/148>

## お知らせ

今後予定している行事は以下のとおりです。※開催時期や会場、開催方法は変更する場合があります。

月	日	行事名	会場・場所	主な内容等
令和5年7	7	第1回社会福祉法人会計研修	マリンパレスかごしま	社会福祉法人会計の基礎知識等
7~8	未定	鹿児島県経営協セミナー（前期）	鹿児島市内	未定
8	未定	自民党鹿児島県支部連合会との意見交換会	自民党県連ビル	—
10	未定	知事への要望及び県関係部課長との意見交換会	県庁	—
10	31	第2回社会福祉法人会計研修	マリンパレスかごしま	注意すべき会計実務の仕訳
11~12	未定	第11回鹿児島県社会福祉法人経営者大会	鹿児島市内	未定

発行/令和5年6月1日発行 共生第43号 発行人兼編集人/久木元 司

事務局/鹿児島県社会福祉法人経営者協議会

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7（県社会福祉センター内） TEL 099-257-9885 FAX 099-250-9358